京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●秋窓獨語 片々子

▲李完用が辭表を呈出せるや曾禰副統監之を齎らし其旨伊藤公に傳達せりとの說が[illegible]之を信ずる能はず、全体完用君に[illegible]るの決意あるや否や恐らくは之れな[illegible]し、若し夫れ辭表を呈出せしことを[illegible]すれば幷は何等かの政畧と見るの外なし、

▲一進會が或る秘密を摘發して完用内閣に總辭職を迫らんとすることは或は事實なるやも知るべからず、之が爲に完用君が頻に防衞に苦悶しつゝあることも或は事實ならん、此事の爲に何人か觀察を誤りて辭表提出を傳へたるに非ざる乎、

▲然りと雖も、完用君の放れ業に大膽なる或は辭表を出して日本官憲の信任程度を試みたるやも知る可らず、唯僕は常識より推して斯ることなからんと云ふのみ、韓人の策には往々常識以外のことあり、決して條理を以て律す可らず、

▲宋秉畯引退して朴齊純内相となりたるに就て、岡次官の位置は依然として動かざるや否は今日の疑問なり、聞く所に依れば何れかの縣知事たるべしとの說もあり、果して岡君にして退任するとせば後任者は抑も何人ぞや、或は松井局長の榮轉となゝんとは決して架空の想像にあらず、

▲農相趙重應君が日本語に達者なるが爲に大に重寶がらるとは事實ならん、完用君は最も趙君あるを以て便宜となさん、或る韓人曰く、趙農相は殆ど通譯に忙殺されんとす、完用君の通譯は勿論、木内次官の通譯もなすと、僕は素より其眞僞を知らず、

▲朴齊純が總理大臣たるとき李完用は學部大臣たりき、今や位置顚倒す朴氏も亦多少感慨あらんと、然れども韓人の多くは政權さへ得れば足る、位置の多少顚倒せるが如きは何等意に介せんや、齊純君と雖も此圈外を脱するものならんや、

▲韓人政客等の多くは金允植若しくは金嘉鎭を中心とせる元老内閣の組織を望めり、僕彼等に向て曰く、何が爲に元老内閣の組織を可とする乎、將た元老内閣となれば何等の利益ありやと渠等曰く地方人民の氣受よし、現内閣は更に人民の信任なしと、言簡なれども之れ事實ならん、

▲國民に信任なき内閣を何時迄も維持することは統治上に於て不利益なり、他に餘義なき事情あらば兎も角然らざれば現狀を打破するを可とせずや、統監政治の運用上に於ても國民に信任ある内閣を組織するを以て良策とす、

▲情實の爲に現狀を打破する能はずとの事もあらば幷は余りに優柔不斷なり、伊藤公は何時も此斷を缺ぐが爲に事績擧らず、統監代理たる曾禰子たるもの茲一番大に考慮を要する所ならん乎、

文苑

●三面投書 春川

今朝〇〇新聞を見たら案の條僕が投書した記事が載つて居る、三面先生餘程首を捻つたものと見えて却々面白く書いてある、馬琴句調が何かで極めて流暢に宛から盤上珠を轉がすやうだ「月も朧朧の夕まぐれ八幡河畔の梅川にて艶な文句を交はしてからは……」の處が全く宜い商賣柄とはいふもの〻實際旨い、拼し酬氣な商賣もあつたものだ御本人嘸ぞ氣苦勞が無いのであらうとは思ふもの〻商賣となつて見ると又辛い事もあるだらうと妙な處へ考へを及ぼした

●春雨霏々 丁蓉

春雨霏々糸の如く降りしきる夕、糸織の格子縞の羽織に、銘仙のけじすの襟のかゝつた意氣な袷に甲斐絹の肩掛さへした二十四五の艶ッぽい年増が赤の蛇の目を差し翳しながら今しも佛國教會堂の坂を永樂町の方へ下らうとする刹那横台から現はれた洋服姿の紳士とバッタリと出逢つた、女はさも驚いた様子で「アラ鈴木さん」と呼んだ男も何うやら不意を打たれたらしく「妙な所で……」と折柄職人体の男が傘をも差さずにビショ濡れになつて通り掛る途端に「旨くやツてらア」と呟いた

●親方の顔 もめよ

「篦棒奴理窟で世間が渡れなけりや何で渡るかね」と色の淺黑い眉の濃い職人体の若者がピチリと云を口に當て斯う云つた「タッテれ前先方は話が解つて居るぢやアないかソレに何もれ前のやうに理窟ッポク强情張つた所で始まらないぢやないか…」と膳の向ふに坐つて居た女房が宥めた、事は何でもあらう一杯機嫌の若者は聽て何事をか決心せしもの〻如く押し入れより匕首を取り密つと懐に呑み「ソレぢや頼むせ」と家を飛び出した

俳句

●青海苔●

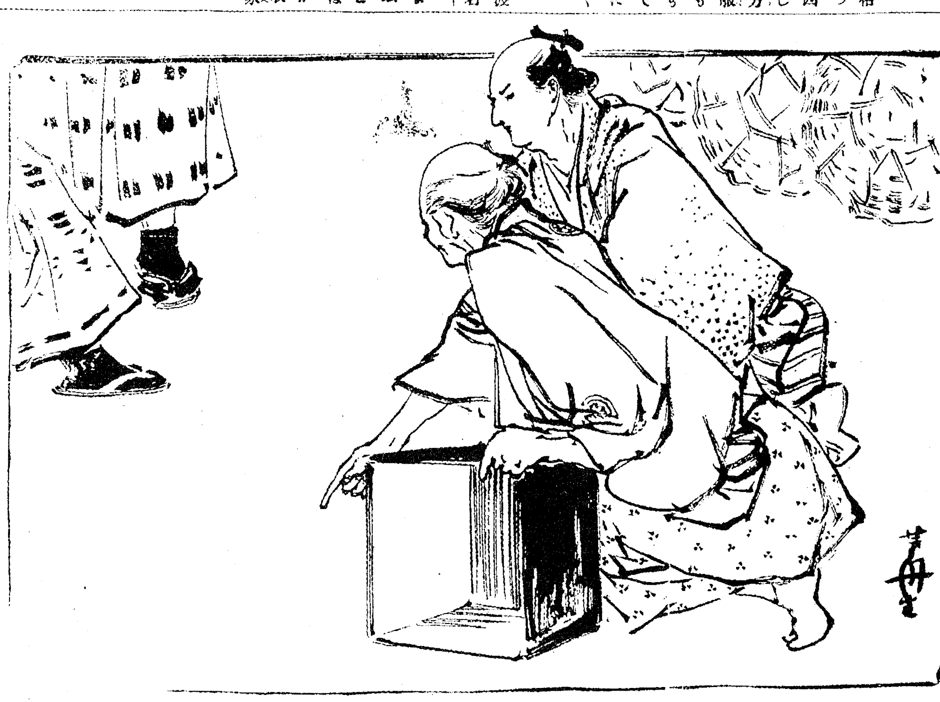
青海苔や香に滿つ膳のとろゝ汁
青海苔や海の底まで春の色
青のりに引立つ寺の料理かな
青海苔を干して八なし島の家
青のりや賣りに來る子も磯訛り
青のりや箸に記せし神路山
青のりや漁村の娘襷ふくむ
青のりや雲より白き坊の飯
青のりや島渡手輕なる土産もの
青のりや何處やら匂ふ磯の風

（新刊紹介）

▲棊界新報 武富氏の「目棊の弊害」北州學人の「圍棊哲學」廣瀬氏の「圍棊上達の法」等は圍棊の心得あるもの及此れより學ばんとするもの〻參考となるべし（三巻三號十八錢東京小石川久堅町棊界新報社）

▲貿易月報 第一章「貿易」第二章「貿易關係事項」第三章「稅關報告」に分ち附錄として「商業上より見たる在韓國外國就中日本人と韓人との關係」「東萊自由港廢止の韓國外國に及ぼす影響」を掲げあり（六號隆熙二年十二月分關稅局編輯）





佐倉宗吾

（廿九） 眞龍齋貞水講演

閥を致し、彼の俵、此の俵と指すのを引抜いて、鎌でブッツリ縄を切り、桟俵を拂ひ席の上へ玄米を、ザー、あけて、俵をポカリツ、／＼／＼、と三度振つて、後へ投げるのが法でございます、それから一斗桝を取出して計り立てる、それを倅の六之助が一と一つ、二た一つ、三一つと數取をする一俵に就いて、三斗八升入つてゐるのが、上納米の法でございます、今二俵を此處へあけて、大きな桶へ計り込んで、殘つた所を一升桝を以て計り上げて見ると、一俵に就いて一升五合の切米がある、此時阪上庫

庫「此度、上御都合に依て、是までの年貢取扱所は手狭に就いて、川喜多儀兵衛の宅にて、御上納米御受取に相成る、次に又、御上の御内意に依て、今年よりは桶桝を以て御受取相成るから、左様心得ますやう「名「ハ、ハーッ」そこで一斗桝、五升桝、一合桝を取出して、是にて上納米を爲納と仰せられる、畏りましてござると、瀧澤村六郎兵衛が出て、此桝を拜見すると、どうも少し寸が延びてゐるやうに思ふ、然れども怨つたばかりではいけない、計つて見なければ分らない 庫「サア計り立てに「六「畏りましてござる」 席の奇麗なのを敷きまして大きな桶が具へてある、それへ城代玄蕃が指

太 庫「コレッ、六郎兵衛、是までの間、上納米に就いては、其方共の計り立の内に、切米あることを御認めに成つたに依て、新規桶桝を以て、御上納米御受取になるのだ吾々の思ひしに違はず、此度一俵に就いて一升五合の切米とは、不埓千萬なり、是まで其方共は、上を僞り居つたな「六「是は御叱り下し置かれたるに對し、恐れながら御上御役八様に言葉を返しまするは、不敬の至りではございますれども、普天の下、率土の濱、孰れか王臣王土にあらざるはなし、德川様御代となり、御支配を受けまする日本六拾餘州は、何れの國々に於ても、

金板角桝を以て計り立てまするが、天下の御法でございまする、只日本中に幾りまし たる桝を用のまするは、甲州一國ほか是なく、なか／＼以て御上へ切米上納など〻云ふことは、是迄の内に吾々共警つて是なき所存にございまする、然るに左様仰せられましては、甚だ以て御領分百姓一同の難儀にございます、斯様な事もあらうかと存じましたるに依て、是までの金板角桝持參を致しました、今この處に於て、計り立つて御覧に入れます」と大音に申しました、何しろ一生懸命にございますから、兩眼血走り、滿面怒氣を含んで居ります、それから倅六之助に向ひ「六「其方數取いたせッ」と吩咐ける、二十六個村の名主は、眼を剝出して、一同役八の顔を見上げて居ります平常非道の取扱を受けますが、此度の桶桝一件では、痛く胸に憊へ、腹に浸渡り、拳を握つて、ブル／＼と、戰慄へてゐる、瀧澤村の六郎兵衛倅六之助、袴の股立を取りまして、親類の數取をする、如何な者が計

つても、一合二合の切米を出す役の所は……るが、一升の二升のと云ふ切米はない、之助の數取の聲が、一と一つ、二た一つ、三一つ、四一つと呼上げる內に、計り上て見ますと、一俵に就いて一升の計り出ある「六「御役人様、只今の桶桝で計りますれば、一俵に就いて一升五合の切米がございまするが、是迄通りの、德川様御定法以て、御許しに相成りたる所の、金板角を以て計りますれば、一升の計り出がございまする、正直一圓に御上納米を致しまする吾々に對し、切米があるとの御叱りは何事でござる、此の如く二升五合の差がございましては、如何やら齋汗を流して働くと雖ども、吾々百姓一同の行り切れる所でございませぬ、余りと云へば苛酷千万な取立ない、非道なる御役人様なり」と、六郎兵衛、倅六之助、兩眼血走り鬢髮逆立ちキット役八を睨み詰めました

京城新報

加藤清正

凡そ歴史上の人物にして其名の能く後世に傳はり三尺の童子と雖も其武勇を語りて尊崇することゝ加藤清正の如きは稀なり、帝釋栗毛に跨りて三尺の立烏帽子を被り片鎌鎗を引提て戰場に臨みたる武者振りは三百年後の今日尚は日本國民の誇りとして語る所なり、余輩は加藤清正が斯くまで後世に敬稱せらるべき偉人たるの資質ありしや否やを知らずと雖も、要するに加藤清正なる一個の人物は今尚は日本國民の中にありて其精神上に大なる感化を與へつゝあるは事實なり、今上陛下が今回三百年祭を舉行するに際して贈位せられたる叡慮も此御主旨に外ならざるべし、清正の靈も亦地下に於て今上陛下の深き恩澤に感泣せらるべきなり、

加藤清正が斯く迄に後世に追慕せらるゝ所以は如何なる理由に基く可きや、清正の武勳赫々たるものありしと雖も、元龜天正の戰國時代には單に武將としては清正に優るの勇者なきにあらず、知略謀議に於ては清正に優るもの多きのみならず、此點に於ては清正は第三流以下にありし也、然るに清正のみ獨り他の諸將に優りて後世に崇拜せらる、思ふに之れ清正の人格が當時に於て比較的高くして其德操の認められたる爲に非らざるか、其心事の正直にして總ての事に當りて公明正大なりし爲にあらざる乎、能く部下の士を愛したる爲に部下の信任厚かりしも亦一の原因に非ざるか、總て此等の好評が綜合せられて加藤清正なる一個の人物は嘖々として後世に傳はり國民の崇拜せる所となりたるに非ざるか、

斯く想像して加藤清正の人格に想到すれば亦一種の觀念起らざるに非ず、殊に文録の役に於ける清正の行爲に就ては感嘆も深し要するに其人格の高潔なると共に極て狹量にして清濁併呑の概なく、而して戰國時代の武將としては珍らしき程に其心事穩和にして稍もすれば人に乘せらるゝの傾ありしなり、之を反面より觀察すれば清濁併呑の量なき爲に全體の利害を眼中に措かずして味方同士の反目をなす事あり、文録の役に於て若し清正にして大度量ありて能く和衷協同せば更に幾多の方法あるべきなり、亦清正にして小早川隆景の如き卓識ありしならば沈維敬や韓人輩に欺瞞せらるゝ事あらざりしなり、文録の諸將中今尚は韓人等に多少德とせらるゝものは清正なり、之れ清正が單順なる正直の心より韓人等に對して相當の禮讓を盡くしたるが爲なり、之が爲に韓人等得意の權謀に乘せられたるなり、文録の戰は失敗の歴史なり、若し外征の諸將にして能く韓人及支那人の性情を解し、内能く和衷協同し、外能く渠等に欺瞞せらるゝことなくば文録の戰史は以て光彩を放ちたるやも知る可らず、余輩は清正の功績を追想すると共に此點に於て大に遺憾を感ぜざるを得ず、今や公の三百年祭を祝するに當りて聊か感ずる所を述ぶ

東京電報

▲更任と副統監　桂侯を統監に擬するものあるも右は無根の説にて是非共更任を要する場合は曾禰副統監の昇任を見るなるべし(十四日發)

東京電報

▲増率と政友會

穀物輸入税引上案は昨日政友會政務調査會に上り大體に於て原案を贊成し増率の程度は幹部及び同案特別委員に一任することゝなる

▲貴族院と三案

貴族院本會議にて造船奬勵及遠洋航路補助の兩案は可決せり尚砂糖消費税は修正の上通過せり(十四日發)

▲井角氏と政友會

井上角五郎氏は政友會に入れり(以上十五日發)

雜報

●漢城府官制改正

豫て報道したる地方道主事増加の事は愈々漢城府を手始めとし昨日の官報にて主事專任七八名を十八に技手專任五人を十人に改正の件公布されたり

●民籍法施行（困難）

來る四月一日より施行せらるべき民籍法は内部に於て之れが施行の方法等目下着々準備中なるが之れを一時に着手する時は隨分多額の經費を要するに付到底一時に着手すること能はず差當り戸籍台帳の紙代として約三万圓の支途を得たれは愈々着手すると雖も人民よりの申告のみを待ては固より完全なること能はず又警察の關渉とても充分に行き届く事能はざる故實に容易の事業にあらず之れを完全なるものとするには一年乃至三年或は數年をも要することゝならんと尤も三十萬圓程あらば約四ヶ月位を以て一應の完成を爲し得ると雖も韓全國の巡査は日人二千一百余人韓人三千余人にして面長の補助を得施行することゝなるも、此警察官は全然使用すること能はず又場所によりては日人巡査の居らざる所もあれば中々困難の事業なりと云ふ

●桑苗配布申請

農商工部が無代配付する桑苗は本年度十萬本なるが此れに對する配付の申請は百六十三萬本の多きに達せりと因みに既報の如く漢城府管内にて果樹苗の無料配付をなす事に決定し同部は林檎、梨、桃其の他の苗木を日本に注文せりと

●新税と法務院長

酒、莨、家屋の三税施行に就て香坂法務院長の談なりといふを聞くに韓國の税法は之れを日本人に適用すること能はず是れ法理上の原則なり然れども統監府令を以て何等かの方法を設くるやも知れずと雖も這は例外の事にて苟も治外法權を有するものは當該國の行政規則則ち衛生及道路修繕等の如き規則に服從するの外斯かる重大なる法律には從ふを要せず統監府と雖も是を日本人に適用する事を得べきや否や疑問なるべし云々

●釜山鎭埋築起工期　釜山鎭埋築工事は資金四百萬圓にて起工は來る九月頃よりなるべしといふ

●馬州丸の仁川入港　仁川安東縣間の初航路[illegible]

●仁川民長後任

富田仁川民長が近々辭職するならんとは既報の如くなるが後任者には石塚總務長官事務取扱は自己の縁者なる内地の某を推選せんと目下配慮中の由なり

●乾元節拜賀次第

來る廿五日乾元節なるを以て韓帝には仁政殿に於て左の次第により皇族以下内外文武官の參賀を受けさせらるべしと

一午前十時　内閣總理大臣以下各大臣中樞院議長　各部院親任官勅奏任官同待遇同雇聘官吏勅三等以上帶勳者

一同十一時　尙親王承候官宮内府親任官勅奏任官待遇者は午前九時熙政堂に於て拜賀すべしと

●伊藤統監道後着

伊藤統監は十四日道後に着せし由統監府に電報ありたりと

●不動産證明と費用

土地家屋に關する證明にして吏員出張する時又は所有權を證明する場合等に當りて之れが費用は隨分多額を要することあるに就き法部及内部に於ては之れを收入印紙に依りて上納せしむるか又は其他の方法を用ゆるか或は幾何を納めしむるかに付き兩部に於ては目下交渉中なりと云ふ

●社倉規定と内部

社倉規定は度支部の所管に屬する筈なりしと雖も罹災民を救助する規定等あり重もに内部に關係することの多きを以て度支部と内部に於ては目下交渉中なる事は既記の如くなるが多分内部の所管に屬することゝなるべく本日の參與官會議にて決定する筈なり

●國朝寶鑑の出版

宮内府奎章閣にては今回國朝寶鑑を實費にて出版する由なるが希望者は三月三十日迄に同閣へ申込むべし

●度量衡購入と移轉

既報農商工部が去る十日購買入札に附したる度量衡は來る五月頃より八月卅日迄に納入せしめ委托販賣人をして販賣せしむる筈にて尙第二回の購買入札をなすべしと因に度量衡課は此の程龍山より京城元衛戍病院跡(山林局隣)に移轉したる倉庫は龍山に置き檢定は同地に於て行ふといふ

●東拓と倉庫建設

東洋拓殖株式會社は平壤に一大倉庫を建設すべしとの說傳へられたるが重役の語る處といふを聞くに將來必要に應じて此等の施設をなす場合は格別現在に於ては未だ斯る計畫なしと云ふ

●東拓の株主總會

東洋拓殖株式會社第一回定期總會は五月下旬東京に於て開催し第一年度の營業報告利益配當等をなすと云ふ因みに定期總會は毎年五月此れを開會することは同會社定款の定むる所にして其の場所は或は京城に或は東京に其の他重役が適當に認むる所に開催し得るものにして第一回は東京に於てする事に決定したるものなり

……るゝは既報の如くなるが同船は遞信省の命令航行船となり來る十九日大阪を出帆し二十二日仁川に入港する筈なりと

●英國汽船仁川陸揚　去る十三日仁川に[illegible]

●宋と一進會總裁

一進會にては去る十二日特別評議員會を開き總裁一人を增置することに決定し宋秉畯を以て之れに充つることゝなしたりと

●携帶煙草處分法

從來海外より渡來する旅客が自己用として携帶し來る烟草中制限外のものは税關に於て關税法の規定に隨ひ課税するに當り携帶者は關税の高きと其手數の面倒なる爲め税關内に拋棄し行く烟草は是迄同關に於て燒棄し來りしが自今右拋棄烟草は燒棄せず最寄專賣局販賣所、製造所、收納所等便宜引繼ぐべき旨其筋より各税關に訓令せりと

●水産組合の活動

朝鮮海水産組合にては四月一日より從來の支部の外二ヶ所の支部八ヶ所の出張所を增設し且つ日韓漁民の親和を計る爲め個所に漁業監督を派し又衛生に於ての醫員の外二名を增加する等[illegible]新すべきにつき之に伴ふ補助金一[illegible]今回其の筋に向つて請願に及びたりといふ

●會計檢査局移轉

會計檢査局は再昨日度支部構内より西小門内なる元稅關工事部跡に移轉せりと又同局に新置されたる副檢査官は昨日の官報にて日韓人各一名つゝ任命せられたり

●仁川橫濱臨時船

仁川郵船會社支店に達したる報に據れば同本店にては仁川橫濱間に臨時船を派遣することに決したる由なるが右臨時船薩摩丸は二十二日頃仁川に着する筈なりと

●人蔘の仁川積出

清商同順泰が韓國政府より人蔘五十餘萬圓を購入したることは既報せし如くなるが同順泰にては右輸送の爲め特に汽船新濟號を派遣することになしたるが同號は本日仁川に入港し人蔘六十萬斤を積載したる上明日出帆し歸航の途に就く筈なりと

●東拓記者招待會

東洋拓殖株式會社は去る十三日午後六時より日韓の新聞記者及通信員二十餘名を花月樓に招待し晩餐會を催したり、席定まるや宇佐川總裁の挨拶に次で顧本セウルプレス社長の答辭あり夫れより宴に移り藝妓の手踊り等あり何れも十二分の快を盡して散會せしは午後十一時頃なりしと

●京城文庫の近況

豫て報導したる當地壽町商業會議所内京城文庫は近來各地より書籍雜誌新聞等を寄贈するものあるに至り中には金員寄贈の申込を爲す向勘からず又た日本に於ては或る有力なる後援的贊助を得たるやにて目下敷地の選定中なりと云ふ而して同文庫は一人の事務員を雇入たれば備付け書籍雜誌等(一毎月曜日を除き)を一般の無料縱覽に應じ居れりと既に今日迄積韓書其他統計等調査の爲め弗々閲覽者ある由なるも各方面より申込の通俗的書籍等到着するに於ては一層閲覽者を增加するに至らむ

千噸は龍山瓦斯會社行き瓦斯管(二千本)及び仁川水道局行き鐵管七百本の外機械其他總計一千二百噸を陸揚したる後明日大連へ向け仁川を出帆する筈なりと

●京城文庫と同情

同文庫が山口精氏により主唱斡旋されて成立せしより同氏が岐阜縣人たるの縁故により當地在留の重なる岐阜縣人より續々金品を寄贈せんとて申込む向もありといふ

●農林學校と入學者

目下生徒募集中の農林學校志願者は頗る多數にして豫定にて八十名の定員に對し既に昨日迄に百四十二名の志願者ありと

●米穀輸入税引上妥協（電報）

米穀輸入税引上案につき去る十四日午後在京中の京商書記長戸叶氏より當地聯合會事務所に着せし電文左の如し

外米輸入税引上案に付政友會は千田案の一圓三十錢を折中し九十錢に妥協せんことを調査會にて決議せり此妥協案に對し極力反對運動中なり

●清韓郵送品（禁制）

通常又は小包郵便に依り清國又は韓國に輸入し又は清國より輸出する事を得ざる物品左の如しと遞信省より告示せり

一、清國に輸入するを得ざる物品

刀劍其他各種の兵器及各種の軍需品(以上は輸入業者が清國政府の徵求に依り輸入する場合又は其購買に對する適法免許を得たる清國人に賣渡す目的に出でたる場合を除く)阿片、食鹽、サチイク、貨幣、銅餅(清國政府の許可を得たるものを除く)モルヒネ及其注射器(清國人以外の醫師藥劑師及藥種商が清國政府の定むる手續に依り輸入するものを除く)

▲備考　南滿鐵道附屬地宛通常及び小包郵便物は本法の規定に依るも關東州租借地宛のものは明治四十年六月關東都督府令第三十八號の規定に依る

二、韓國に輸入するを得ざる物品

阿片(藥用のものを除く)僞藥、軍器類(見本又は遊獵用若しくは防身用の物品にして韓國政府の許可を得たるものを除く)白銅貨、地金、貨幣鑄造用の模型

三、清國より輸出するを得ざる物品

兵器、鳥銃、拳銃、軍需品、亞鉛(以上は清國政府の許可を得たるものを除く)清國條約港に於て外國人の製造したる鐵鍋、銅貨(保證を差入れて清國條約港のみに輸出するものを除く)米、粉、小麥、粟、玉蜀黍其他の穀類(陸揚米濟の外國産のものを除く)

●穀税增課問題（輸入）

千田軍之助氏提出の輸入税法中改正法律案委員會は十日午後二時より第三回を開きたるが議員の質問に對する政府委員答辯の要領左の如し

▲下岡農務局長曰く　本案は關係なく從來農商務省の調査せる所によれば各種の農事改良より現在一反一石六斗の收穫は增加して少くとも二石となす得きが故に從つて水田二百八十二萬町歩より五千六百四十萬石陸田八十萬町歩より八十萬石(一反一石)耕地整理により新に得る耕地反別三萬四千五百町歩として六十九萬石開墾地目變換により得る所三百六十萬石田二十五万町歩より(一反一石四斗として)四百二十五万石合計六千七百萬石迄は增收を見るを得べし但しこは三十年後に至りて初めて得べき結果なるが統計學者の算定によるに三十年後の本邦人口は六千六七百万人なるが故に現時の消費によれば三十年後に至るも内地産米を以て能く内地の消費米を供給し得べし

▲若槻大藏次官曰く　若槻次官は答へて曰く關税問題は協定税率の撤廢を期として一般に改定を要するが爲大藏省は多分來期議會に於て一般税率改定表を附議すべき考なるを以てそれ以前に於ける個々の關税改正は成るべくこれを避けたき希望なるが特に穀物關税の增減はその影響する所太だ廣きを以て輕々しく斷ずるを得ず現時考る所によれば本案は關税政策によりて穀價を高め以て農民の購買力を增して不景氣を挽回せんとするにあるが如きも米價の高下を左右する最大要素は産米に比して輸入米極めて少額(五分乃至九分)なる吾邦の如きにありては關税の高低に係ること甚だ少くして主として内地産米の多寡に之れよる而して關税增課は内地豐年の際には輸入を防止するに多少の力あるも一旦凶年に瀕して外米の需要太だ急なる際はこれが爲に累を受くること極めて大なり殊に日韓經濟關係上及び吾國の對韓政策の上より韓國米を内地消費に向くるの適切なるに拘らず本案によれば韓米の輸入は危機に瀕すべく尚又目前の問題としては關税改正は發布後六ヶ月を經ざれば實施するを得ざるが故に其間外來の見越輸入の多額にこれあるべきは免るべからざる所果して然らば昨年の豐作にて米價低落の今日かゝる見越輸入の持ち越しを見るに至らば米價は愈々低落するの悲運に會すべし是故に提案者の精神は政府亦之れを諒とする今日に於て本案を成立せしむるの利害に就ては大なる疑問を懷き居るものなりと

次で二三の質問あり最後に千田氏は米價と諸物價との騰貴の割合に著しき差異ある所以について政府委員に喰つてかゝりしも一擊の下に沈默せしめられ斯くて理事三名に千田木村及び大岡委員長を加へて特別調査委員を組織し問題の爭點を決し事實を調査整理することゝし四時五分前散會せりと

京城の人々は去る十三日午后一時より京城ホテルに標題の如き會を開催し親睦したり當日の出席者は香坂法務院長、渡邊大審院長外卅餘名にて其興には淺井樂手の……

●大韓協會の總會

同會にては去る十三日總會を開き豫て評議員會にて詮議したる規則の改正と支部五ヶ所設置の認可等を議定したりと

●解氷後の市況金融

結氷中に閉ぢ込められ居たる平壤も大同江解氷のため追々上流地方との取引行はれんとし市況幾分か回復の兆見え金融界も之に伴ふて活動を初め一銀支店の如き輸入品に關係ある取立手形荷爲替等漸次增加し來りたりし

●鎭南浦車船接續開始

鎭南浦兼二浦間車船接續は四日より開始されしが爾來毎午前九時半南浦を發し兼二浦着列車の荷客を搭載して午後六時南浦に歸着すると云ふ陸貨銀は當分の内特等二圓並等一圓五十錢なりと

●二月中仁川出入客

二月中仁川港出入客數は總計二千四百二人にして出客千四百十九人内日本へ三百三十一人沿岸へ六百五人清國へ四百四十三人又入客は九百八十三人内日本より百三十四人沿岸より五百三十人清國より三百十九人なり

……り和氣藹々たる中に散會せしは午後九時なりしと

●御代丸の鎭南浦行　仁川大阪間の商船臨時船御代丸は昨夕仁川に入港し本日鎭南浦に[illegible]

●叙任辭令（三月八日附）

任建築所技師叙奏任官四等　八島明
臨時財産整理局事務官　池邊[illegible]
任會計檢査局副檢査官叙奏任官三等
會計檢査局主事　服部豐吉
任會計檢査局副檢査官叙奏任官四等
内部技師　山内圭一郎
給七級俸

公人私人

▲多賀宗延(江原道書記官)　十四日歸任
▲村田懋麿(太陽記者)　一昨日來京
▲土屋辰三郎(歩兵中尉)　十三日海州より入京山本旅館
▲吉川岩喜(平壤鑛業所技師)　十三日入京天眞樓
▲森俊藏(砲兵少佐)　十三日入京巴城館
▲吉永助一　同日公州へ歸任
▲吉原三郎(東拓副總裁)　京義沿線視察の爲め往復十日間の豫定にて昨朝南大門驛を出發したり
▲窪田營口領事　十五日入京巴城館
▲天春營口水道電氣會社長　十五日入京巴城館
▲光川岩藏(平壤鑛業所技師)は十五日入京天眞樓

近事片々

▲東京に於て李容九を歸韓せしめたることに就て伊藤公と宋氏と爭へりとは事實乎
▲宋氏近來何となく狂氣じみて矢鱈に喰てかゝる窮すれば亂するとは此等の事にや
▲伊藤公も宜加減にすればよいのに何時迄も引懸り居ると却て公の煩ひとなるべし
▲一進會にて會長改選の事一決し重望宋氏に集り其決議を齎らし近々會員東上すと
▲完用内閣も近來何となく落付かず謀議中々忙はしく何事の爲に斯くも狼狽せるや
▲併し韓國内閣は之が通常にて毎常一様の茶飯のみ斯く觀察すれば何等不思議なし
▲毎日宗從面々總理の家に會して密議すとは異乎之れ一進會に對する防備なるにや
▲此儘では迚も永く現狀を維持することは出來ないだろうと思ふ前途の成行き如何
▲統監政治の刷振と共に今日の現狀を根本的に打破して新なる舞臺を造るが肝要也
▲東京に於ては統監政治の不振と云ふ事が大分問題となり居る樣子に流行語となる
▲藝妓共迄が統監政治だよなど丶云ひて不振の意味に使ふとは果して事實なりや否
▲一犬虚に吠ゆれば万犬實を傳ふ輿論は妙なる所に飛火するもの當局者警戒肝要也
▲統監政治の刷新に就て曾禰副統監大に心算ありと聞く果して然らば大に喜ふべし
▲其事實となりて現はるゝ日は何時なるやは知るべからず雖も速ならん事を望む
▲曾禰子にして此決心ならば今日統監政治に對する批難は直に盡滅せんか至囑々々
▲如何に刷新の實を擧げらるべきか其手並の程早く見せほし風說でなくんば幸甚也
▲人物の陶汰之が肝要なり此等に就ては曾禰子の手腕が如何に揮はるべきか見物
▲進歩黨愈々以て亂脈となれり水と油の如く到底和することは六つヶ敷からん乎
▲革新派にして其非を悟らざるに於ては分裂の外なかるべし進歩黨の末路も哀れ也

●列車内の圍碁設備

京釜線急行列車に限り旅客の娯樂に供せん爲め列車内に圍碁將棊を備付くるべしとは既記せしが二三日中には之が實施を見るべしと

▲更任と副統監 桂侯を統監に擬するものあるも右は無根の説にて共謀共更任を要する場合は曾禰副統監の昇任を見るなるべし(十五日發)

…算金四百萬圓に…超過は來る九月中…よりなるべしといふ

●福州丸の仁川入港 仁川安東縣間の航路が商船會社にては既に福州丸に決した

●英國汽船仁川陸揚 去る十三日仁川に入港せる英國汽船アルシノース號(一萬二…他總計一千二百噸を陸揚したる後明日大連に向け仁川を出帆する筈なりと

●横濱曾開會の模様 横濱に縁故を有す…を催したり當日の出席者は香坂法務院長、渡邊大審院長外廿餘名餘興には淺井樂手のハーモニカ進行曲バイオリン千鳥の曲等あ…

●御代丸の鎭南浦行 仁川大阪間の商船臨時船御代丸は昨夕仁川に入港し本日鎭南浦に向ふ筈

…將碁を備付くるべしとは既記せしが二三日中には之が實施を見るべしと

京城居留民團公文

●京城居留民團規則第壹號
明治三十九年京城居留民團規則第四號京城居留民團書記定員ニ關スル規則中左ノ通改正シ明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ
明治四十二年三月十三日 京城居留民團民長 熊谷賴太郎
第一條中「十五」ヲ「十八」ニ改ム

●京城居留民團規則第二號
明治四十一年京城居留民團規則第二十一號京城居留民團立漢城病院職員俸給給料規則中左ノ通改正シ明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ
明治四十二年三月十三日 京城居留民團民長 熊谷賴太郎
第一條 院長、副院長、部長、幹事ノ俸給ハ年俸トシ醫員調劑員書記看護婦産婆雇員及助手ハ月俸トシ給仕使丁ハ日給トシ左ニ掲クル所ニ依リ之ヲ支給ス
院長 一級五千圓二級四千二百圓三級參千六百圓
副院長 一級參千六百圓二級參千圓三級貳千四百圓以下
部長 貳千四百圓以下
幹事 千二百圓以下
醫員調劑員 百五十圓以下
書記 八十圓以下
看護婦、産婆、助手、雇員 五十圓以下
給仕、使丁 八十錢以下

●京城居留民團規則第三號
明治四十一年京城居留民團規則第一號京城居留民團立漢城病院職員往診手當及舍宅料給與規則中左ノ通改正シ明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民團ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ
明治四十二年三月十三日 京城居留民團民長 熊谷賴太郎
第一條 京城居留民團區域外ニ往診シタル者ハ其ノ往診料ノ半額ヲ支給ス

雜報

●酒井政平の破綻(十九)
……▲悲むべき居留地の問題▲中村再造氏の被告事件眞相……

辯論調書(證人調)
須田近思郎(證人訊問)

問 證人は酒井政平の財産に付き管理委員となりたるか
答 共管理委員は天一銀行故私が同銀行の代表者として同委員の職務を行つて居りたのであります
問 之れを知つて居るか
甲第二號證を示す(整理案)
答 知りて居ります
問 同委員の權限は
答 唯一案を實行する職務にて別に具体的に定まつては居りませぬ
問 證人は何時就任したるか
答 本年八月中前任者飯泉より引繼いたのであります
問 證人は就任後如何なる事務を執りたるや
答 集會を二三度致した丈けであります此の調書は關係人に讀み聞したる處にて承諾したり(證人須田氏訊問了)

森田熊夫(證人調書)

問 酒井に對する各債務者は集會の上市原盛宏熊谷に依頼し酒井の負債整理案を作りたることを知るか
答 知りて居ります
問 其事は酒井も知り居るか
答 ハイ知つて居ります

市原熊谷兩人に依頼する事に は異議なかつたか
答 勿論異議は無いのであります
問 酒井は案を見たるか
答 見ましたが異議は述べないのです(證人森田熊夫調書了)

●巡査殺しの逮捕
▲犯人は三名の日本人▲悉く縛に就く▲銅峴分署の大手柄……
去月二日午前三時頃當地西小門外に於て三名の支那服を着したる兇賊の現行犯を認め單身是れが逮捕に向ひ途に其毒手に殪れたる故警視廳刑事山本雅夫氏の事に就ては當時詳しく報導したるが爾來警視廳管内各警察署に於て嚴重捜索中の處天網恢々疎にして洩らさず途に銅峴分署の檢擧する處となりたり當時兇賊は支那服を着したりと云へば或は支那人とも云ひ、日本人とも云ひ又は韓人とも噂せられしが檢擧の結果全く日本人にして

奥谷悦治 津城太八、三浦周吉と云へるものなるが本件は目下京城理事廳にて豫審中なれば遺憾ながら茲に詳細を報道する能はざるも不日豫審終結の後此等兇賊に關する永き自白を掲載する事とせん

●有名なる板間稼の就縛
京城龍山仁川を荒し廻る仁川京城龍山に於ける數十軒の湯屋を荒し廻りたる有名なる板の間稼ぎ後藤造(三十)と云ふが先頃仁川に入り込みたること仁川署の三刑事が探知し其の在所を捜索し居たる所一昨日同地新町朝日湯に入らんとする所を發見したれば有無を言はせず本署に引致したる上取調べたるに意外にも京城龍山仁川にて湯屋を軒別に荒したる事實を自白に及びたる由なるも目下尚取調べ中なれば詳細は後報すべし

●酒罎で頭を撲る
當地水樂町二丁目二十九番戸車夫時吉才藏(三〇)と云へるは去る十三日午后九時頃明治町三丁目小森勝太郎方にて勝太郎及び同居人荻野亥之助同町宮武甲次郎外一名都合四名にて飲酒中醉の廻るに連れ彼等仲間の常として語氣荒々しく釋も別からぬ口論を初め才藏は亥之助(二六)の頭部を四合入の正宗罎にて撲り飛ばしたるにぞ亥之助は此旨明治町派出所に訴へ出でしかば才藏は直に引致されしが昨日療治料を仕拂ひて事濟み

●東京の新流行語
出齒龜、振つて居る杯の流行語も大分古るめかしくなりし此頃東京では茲に奇抜なる一新語出來たり即ち振つて居るの反對に『振はんさ』を『統監政治』と云ふにありて例へば何々君の演説は振はなかつた子ーと云ふを何々君の演説は丸で統監政治だ子ーと云ふが如きなり

●敷島の花(下) 魚友痴史
▲吾妻樓▲ 平常も莞爾やか福助顏で遊客をうらさぬ愛嬌者
▲深川樓▲ 飾る花壇に一と際すぐれ艶色もます菊與つ盛り
▲第二敷島樓▲ 縹緻よし子の噂さは高く嫖客もくるわの娛全盛
▲高砂樓▲ 花の山城氣も浮かれ男が色香慕ふて登樓り來る
▲第二高砂樓▲ 音に響いた其の名も鈴子此頃ア大ひに振つてる

●一夜に出火三件
去る十四日午後七、卅分頃南部櫻井町二丁目韓人李畏朱方溫突の煙筒より失火し附近の新松葉に燃へ移つて隣家趙東根宅に延燒したるも何れも半燒にて消止む損害約六十圓▲又一昨夜本町六丁目及び北署管内各ボヤ一件宛ありたり

●職工のヘベレケ
仁川万石洞濟物浦精米所の職工山口縣生れの川上万二郎と云ふは再昨夜泥醉の結果京町二丁目にて喧嘩を極め居たる際警官に認められ制止せられたることを今度は警官に反抗したれば仁川署に引致せられ說諭を加へられたるが醉が覺めてのグウの音も出ず恐れ入つて引下る

●時計を遺失よ
仁川京町二丁目有田富二郎と云ふは一昨日午後八時頃京町より本町に行く途中時計一個を遺失し青くなりて其筋に屆け出づ

●八島拍子の廢業
當地新町遊廓山遊樓の抱へ八島事身島市廣瀨村永山いし(二五)は目出度年期を終り昨日限り泥足を洗ひたり

●天然痘患者の死亡
仁川の天然痘患者…

●演藝
五雲會第二十八回能會は來る二十一日(第三日曜)午後一時より本町六丁目有明樓に於て開會の筈なるが番組は邯鄲●盛久、雲雀山、西行櫻、藤戸等なりと▲永樂亭に開演中の浪花節廣澤虎丸一坐は十六才の少女夏菊が非凡の讀振り及び虎丸の滑稽大愛嬌が呼物で好人氣なり

山下萬二郎(二一)橋口一雄(二一)の兩兒は一昨日死去したり

●韓語獨習(三)

日本語	韓語
何か御用で御座いますか	ムスンイリ、イッスムニツカ
一寸御面會を願ひます	チョム、ポイオプコチョハオ
其の後、御無事ですか	クウ、トンアン、ムサ、ハイヨツソ
無事です	チャル、イッソ
御年齢は、いくつ、ですか	ナーイ、オルマーナー、トイショ

どうめがね

▽統監 伊藤公舞子に於て古馴染の女將と牛肉のつゝき喰ひに舌鼓を打ち乃公はよく風月を解してよく政治をやる杯と大に興ず

▽法科 大學生櫻井潤と云へる者復師の送別會よりの歸途東京青山北町の辻井で喝を醫せんとして入水し遂に無慘の溺死を遂ぐ

▽大連 羽村洋行の妻カメと云ふ者新婚の夫の許に行く途中朝鮮沖七八島附近にて海中に投身す原因は先夫との關係上よりなり

▽光州 守備隊は去る五日吉田少佐指揮の下に靈岩城に一際高き月出山に猛虎狩を爲したるが武威に恐れてにや一匹も出て來ず

▽出齒 龜の控訴公判は去る十一日東京控訴院にて開廷す自白と證據と相違せりとて大に法曹界の問題となる或は無罪となるか

▽女房 の死亡したるを苦にして精神に異狀を生じ職業用の小刀出にて仁王立となり切腹せし男は横濱市西戸部町補職川邊常吉

●天氣豫報(自十五日午後六時至十六日午後六時)
南の風曇
十四日 最高溫度(華氏)四七、一 最低溫度 三五、四
本日午前六時韓國氣象概況 高氣壓は遼東附近にありて區々の風吹き南部は晴天其他は曇天なり

▲無料紹介欄▼

人事部

用達業に多年經驗を有す給料望まず雇はれたし 姓名在社(一八五)

求職業 友人歲二十才普通教育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇われたし但し御話に心得あり 社內河村(一八六)

でつち入用 十八歲以下にして身元保證人ある者 龍山元町三丁目三四二三日韓組白米小賣店(一八三)

女中入用 可成年老けたる人を望む 龍山元山三の二八鐵道運輸聯合會內松原

エムエム生に告ぐ匿名にては御要求に應じ難し (係)

被雇たし 裁縫の心得あり年二十七の女至急被雇たし 姓名在社(一二九)

夜間雇はれたし 但し午後七時半頃より新聞配達及び如何なる勞働にても差支なし 大平町郵便受取所左込橫入 前田(一九三)

歲廿才身体健全高等小學卒業身元保證人あり職業不選至急雇れたし 姓名在社(一九四)

物件部

旭町一丁目山の手にて風景絕佳の土地建物付にて讓り度し (姓名在社一七五)

鳥致院近傍にて田畑二十余町歩納家二棟農具各種小作又は讓渡しの相談に應ず 姓名在社(一七七)

貸家 京城明治町二丁目所在二階建五間疊建具完備勝手元用水便利也 家賃十五圓、廿圓、卅五圓 明治町角藤田合名會社貸家係(電話二三〇)

貸地 龍山青坡契(彌榮陣橫)千五百坪 便利貸附仕候風景絕佳住宅向 京城北米倉町一丁目 太田商店(一八〇)

貸家 若草町一溫突三間半疊敷一間外に炊事場押込建具付にて極めて閑靜家賃十三圓 若草町一の二元矢島(一九一)

呼よき電話讓渡たし 社內中村

廣告

四十二年春の部

營業案內

蔬菜種子 果樹苗 山林苗 農書 農具 家畜類

東京內藤新宿電車終點際

日本種苗株式會社

診察所 京城理事廳前電話八八〇番

池田內科小兒科醫院

療養所 旭町二丁目白耳義領事館隣(元伊國領事カサチ氏跡)

統監府通信管理局囑託醫學得業士前漢城病院內科主任 **池田季雄**

銘茶 卸小賣 寫古堂茶舖 京城本町二丁目

無煙炭 燃料 用途 (鑛、暖、爐用に適す) 官營無煙炭所 谷口無煙炭工場 京城特約店 巴商會 韓國一手販賣 京城太平町二丁目 神田組

官營無煙炭大々的直下

一塊炭 一噸(十二俵) 九圓九十錢

一切込炭 一噸(十二俵) 八圓五十錢

其筋の御指定に依り右の通り直下げ致し候に付御屆けすれば持込賃及叺代又は御申込被下度自然割價格より高價の申出を爲す者もこれ有り候也

南大門外古市町青坡道 平壤官營無煙炭特許一手販賣 苫米地造酒彌

芳醇無比の清酒 ほうじゅんむひ せいしゅ

京城南山町四丁目(電話八四九番)

山邑京城支店

愛喫煙家諸賢

一、廢本品を御試用相成候得ば如何に風味に富み如何に芳香にして人體の健康に害無きかを知らるべし
一、本品は有名なる土耳古國の煙草を精選し製造せるものにして…
二、…
三、…

●土耳古金口莨直輸入●

GDS

イペンリヤル

直輸入元 京城明治町二丁目(大坂屋前) シエリス商會

一手特約店 京城黃金町 井出商店 (電話一九〇番)

同 釜山本町 內山米太郎 (電話一〇七番)

同 平壤大和町 佐藤商店

石炭直輸入卸小賣

●精撰塊炭(海軍御用炭) ●上等塊炭 ●荒塊炭 ●切込炭(鐵道御用炭)

弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

赤阪口臨時炭坑 炭部 韓國京城南大門通

合名會社範多商會韓國代理店 大阪鐵工所韓國代理店

合資會社長谷商會韓國出張所 電話長(八二九番)

全やまと足袋 大阪町 岸田商店 何れも販賣店にて御引替可申候

新荷着御案內

やまと玉タオル やまと玉足袋

御賣出張所

大阪日報 一ヶ月廿錢 大成社

九州セメント

今回大割引を以て販賣仕候間御用命被下度候

京城南山町一丁目 **山村商店** 電話三四四番

林藥店

澤龜 醇良清酒 大阪府堺市 宅合名會社

京城南山町一丁目病院前 **古花** 電話

大見切賣

金口卷莨各種 エヂフト卷莨

弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月二十五日迄 現在品悉皆各國產煙草大見切安直を以て御高需に應じ候間此際陸續御用命の程奉願候

二月二日

本町一丁目 トルコ煙草商 日希商會

各位

G. J. C.

特約販賣自製

漬物 味噌 醬油製造元

京城本町五丁目 **大上商店** (電話二五一番)

和洋酒、缶詰、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣 御希望に依り商品切手調進仕候

明治廿年創立資本金一千萬圓

日本國火災保險業の嚆矢

東京火災保險株式會社

代辨店 山口吳服店

事務所 京城本町二の三電話九番

精良石油賣出廣告

旗票石油は 光力強度鮮明なり 容器美麗堅固なり 無色透明なり 臭氣極少なり

RISING SUN PETROLEUM COMPANY LIMITED TRADE MARK ALLIANCE BEST REFINED PETROLEUM

ライジングサン石油株式會社

韓國出張所

仁川英油組合 釜山英油組合 京城英油組合

特約販賣店 仁川本町四丁目 釜山本町二丁目 京城本町三丁目

建築業 京城本町七丁目別府通 中川卯之助 電話六九一

○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

洋種純良牛乳 京城南大門通 三井牧場 電話五七一

▲清潔の下宿 客室の清潔と調理の美味と御取扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間販々御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路(元花屋跡) かめ屋

▲懇切の下宿

青々園 風味雅趣ある名茶を撰び… 京城本町四丁目 茶商 茶器商 青々園茶舖

日本郵船株式會社

瀛船出帆廣告

仁川海岸通 貨物及船客取扱店 郡回漕店 電話三十一番

大連行 新潟丸 ... 釜山長崎門司神戶 ... 大連、大孤山 ... 酒田丸 ... 山東丸 ... 高砂丸 ... 大連、芝罘、牛莊行 ...

立釜山丸 元山、浦潮行 ...

注意 船の出帆時刻 ...

發行所 京城新報社